

# QSS-33シリーズ Ver. 7.02

## QSS-33SDシリーズ Ver. 6.02

### 新機能の説明

(1) 17インチ液晶モニター（オプション）に対応しました。

(2) QSS-Kids専用のUSB操作キーボード（オプション）に対応しました。

QSS-KidsでUSB操作キーボードを使用する場合は、QSS-Kidsの「機能・オプション登録」画面で「USBキーボード」を選択します。

設定画面表示方法

「F」>「メニュー」>「拡張メニュー」>「機能・オプション登録」

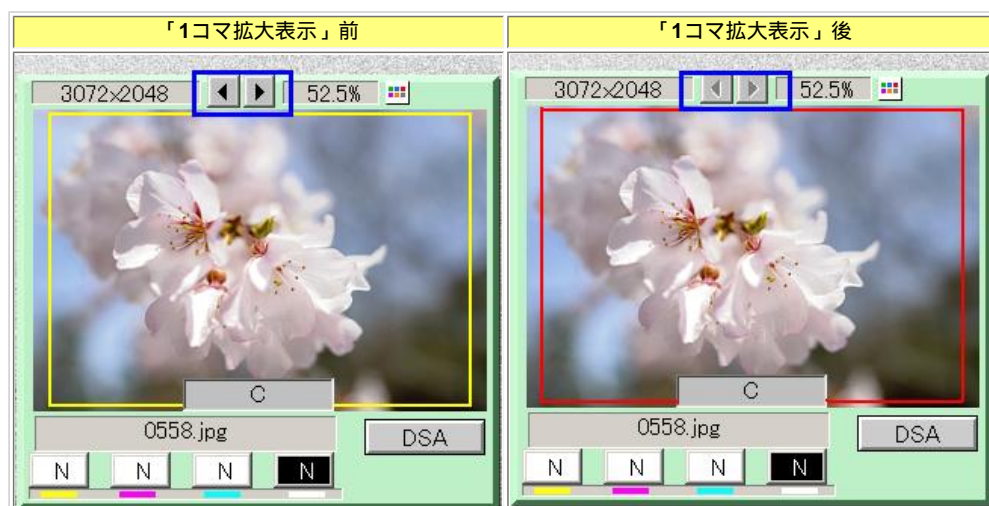
参考

従来の「キーボード拡張キット（PS2ケーブルで接続するタイプ）」も引き続き使用できます。


(3) 記憶メディアから画像を読み込んだ場合も、「ジャッジ画面」でプリント枠を移動できるようにしました。

「微調整」ボタンを使ってプリントサイズごとにプリント枠を調節できます。

「1コマ拡大表示」画面を表示させ、その画面でYES:OKをクリックした場合、「微調整」ボタンは無効になり、選択されているプリントサイズのプリント枠を調節することができません。



参考

「微調整」ボタンは、読み込んだ画像の大きさによっては上下矢印ボタン（）で表示されます。

(4) 「ジャッジ」画面から「シーン別補正」画面を直接起動できるようにアイコンを追加しました。



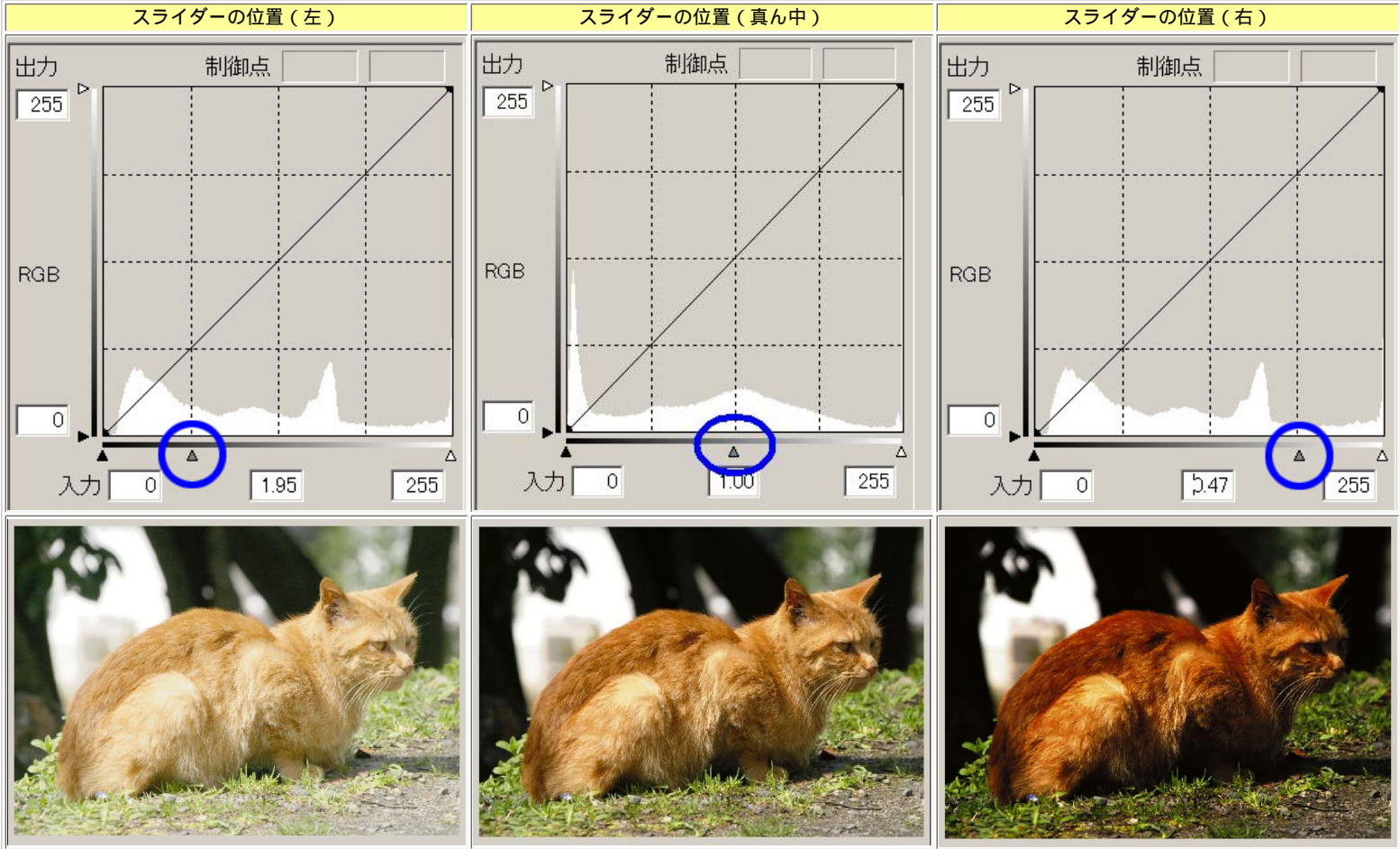
参考

「シーン別補正」機能を使用するには、「シーン別補正ソフト（オプション）」が必要です。

(5) 「トーンカーブ補正」画面に画像の中間色を補正する機能を追加しました。

画面表示方法  
「ジャッジ画面」>「1コマ拡大表示」画面>「トーンカーブ補正」

スライダーを移動させると、その画像の中間色が補正されます。  
よって、スライダーを左に移動すると、画像の中間色が薄くなります。  
スライダーを右に移動すると、画像の中間色が濃くなります。

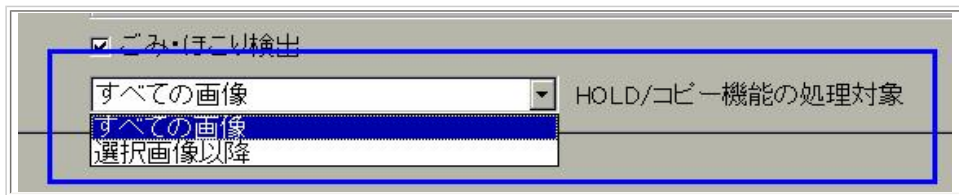


参考  
「トーンカーブ補正」機能を使用するには、「トーンカーブ補正ソフト (オプション)」が必要です。

(6) 「ジャッジ画面」で「HOLD」キーやコピー機能を使用する場合、色/濃度の補正やプリントサイズなど「ジャッジ画面」で設定した値を全画像に適用するか、選択画像以降の画像に適用するかを選択できるようにしました。

「機能選択」の「ジャッジ動作」タブの「HOLD/コピー機能の処理対象」にて適用方法を選択できます。  
設定の詳細は以下の通りです。

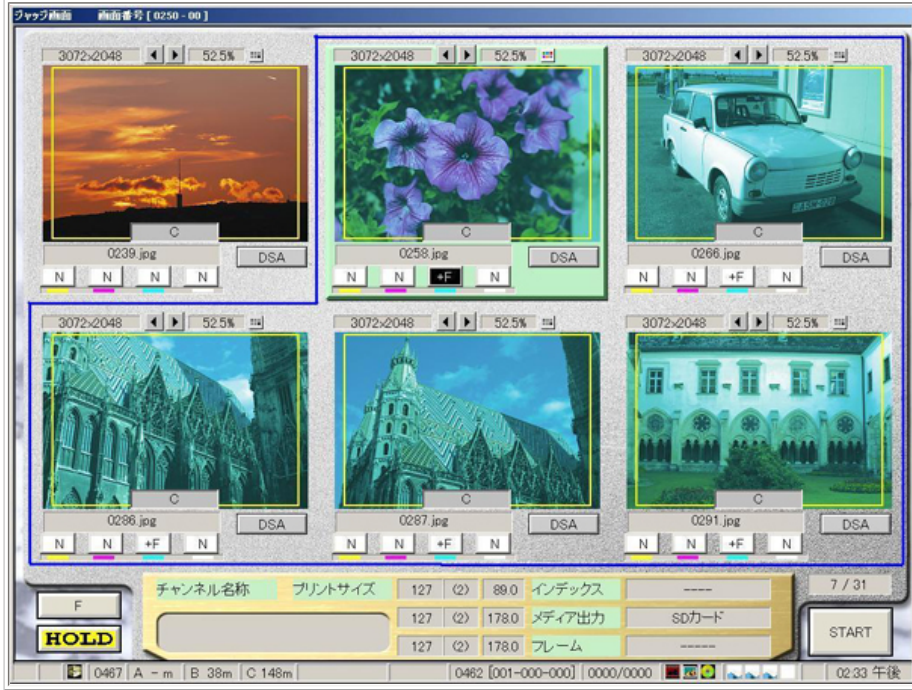
設定画面表示方法  
「F」>「メニュー」>「拡張メニュー」>「機能選択」>「ジャッジ動作」タブ



選択項目	内容
すべての画像	「ジャッジ画面」に表示されている画像すべてと、それ以降のすべての画像に補正などの設定が適用されます。
選択画像以降	「ジャッジ画面」で選択している画像以降のすべての画像に補正などの設定が適用されます。

例) 「選択画像以降」に設定し、2コマ目を選択した状態で、**HOLD**を押した場合

シアン「+F」の補正値が2コマ目以降のすべての画像に適用されます。



(7) 「機能選択」画面に「ショートカットキー」タブを追加しました。そのタブ内で、画面表示とYMCD調整、プリント枠調整用にショートカットキーを割り当てることができます。

#### 設定画面表示方法

「F」>「メニュー」>「拡張メニュー」>「機能選択」>「ショートカットキー」タブ





## 設定詳細

「ジャッジ画面」や「エディット」画面で画像を編集する際に、ショートカットキーを使って以下の画面を表示と補正、操作ができます。

項目		割り当て可能なキー
画面	1コマ拡大表示	ソフトフィルター
	DSA	クロスフィルター
	シーン別補正	トーンカーブ補正
	カラー変換	スポット補正
操作	プリントサイズ変更	画像回転
	ズーム率	カラー変換 (カラー)
	カラー変換 (モノクロ)	カラー変換 (セピア)
	微調整キー 左/下	微調整キー右/上
YMCD補正	-1	+1
	-2	+2
	-3	+3
	-4	+4
	-5	+5

設定されたショートカットキーの情報を「ショートカットキー」タブ内の「エクスポート」ボタンで書き込み、「インポート」ボタンで読み込むことができます。保存されるファイル名は“ShortCutKey.ini”です。ファイル名は変更できます。

書き込んだ設定情報を他のQSSに読み込んで設定を合わせることができますが、情報を読み込む機種やバージョンが対応していない項目は表示されません。また、設定情報を読み込む機種にスポット補正ソフトなどオプションソフトがインストールされていない場合や、読み込む設定情報に項目の情報がない場合は「---」と表示されます。

### (8) 「1コマ拡大表示」画面に「プリント」ボタンを追加しました。

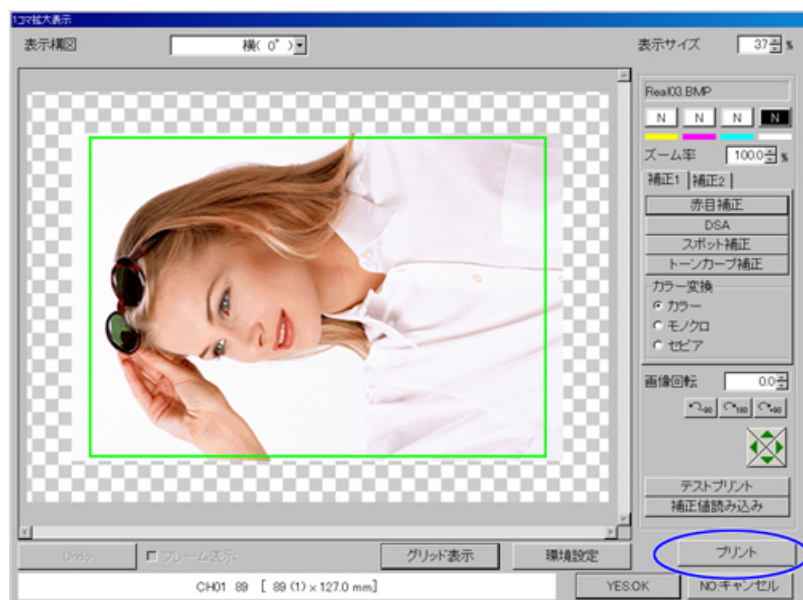
1回のスキャンング、またはデータの読み込みで、1つの画像から複数種類のプリントが可能になります。

#### 使い方

「ジャッジ画面」や「1コマ拡大表示」画面でプリントサイズや色、濃度などを変更し、「プリント」ボタンをクリックしてください。この作業を繰り返すことで、1つの画像から複数種類のプリントを作成できます。

#### 例えば・・・

- ・プリントチャンネルでC/P/Hに異なるサイズを設定している場合、1回のスキャンングまたはデータの読み込みで、C、P、Hごとにプリントを出力できます。
- ・色や濃度、トリミングなどの補正条件が異なるプリントを1回のスキャンング、またはデータの読み込みで出力できます。

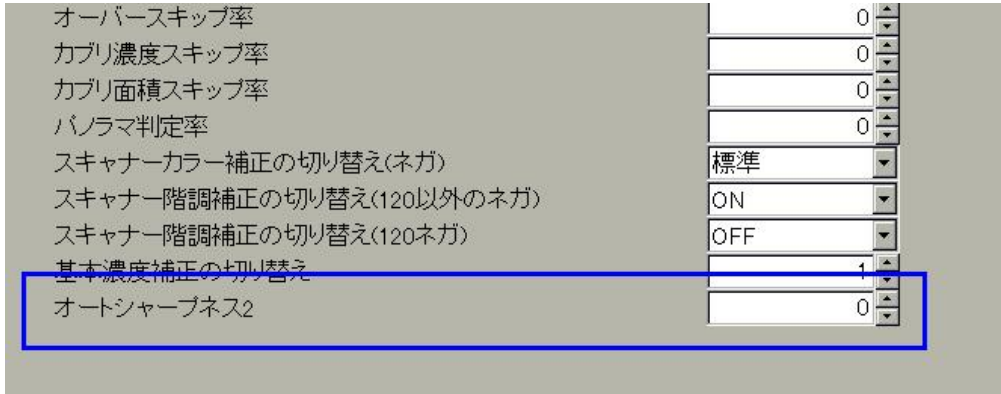


(9) スキャナーセットアップのパラメータ(ネガ)モードの「パラメータ1」画面に「オートシャープネス2」機能を追加しました。

画像上の人物の顔の有無や大きさを検出して、その画像に合ったシャープネスの程度を自動で調節します。  
この機能は、デジタル画像にも有効です。

設定画面表示方法

「F」>「メニュー」>「拡張メニュー」>「セットアップ」>「スキャナーセットアップ」>「パラメータ(ネガ)」>「パラメータ1」

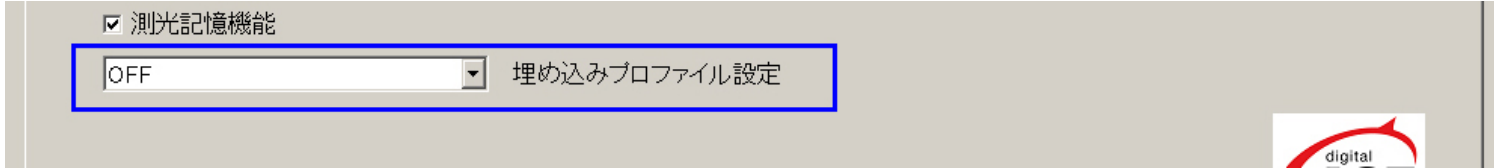


選択項目	内容
1	画像上の人物の顔の有無や大きさを検出して、その画像に合ったシャープネスの効き具合を自動で調整します。 補正をする場合は、顔の輪郭部分のシャープネスの効きを和らげます。
0	この機能は働きません。

(10) プロファイルが埋め込まれた画像データを入力した場合、プロファイルのデータを使用して処理を行う機能に対応しました。

設定画面表示方法

「F」>「メニュー」>「拡張メニュー」>「機能選択」>「補正」タブ



選択項目	内容
ON	画像データ内の埋め込みプロファイルを使用します。 QSSはsRGBの色空間で画像を処理しています。ONに設定した場合、埋め込みプロファイルの色空間からsRGBの色空間に変換し処理します。
OFF	画像データ内に埋め込みプロファイルが存在しても、そのプロファイルを使用せずに、sRGBの色空間で処理します。



注意：画像はあくまでもサンプルですので、実際のプリントやデータとは異なることがあります。

(11) KODAK Picture CD の書き込み可能な最大容量を設定できるようにしました。

設定画面表示方法

「F」>「メニュー」>「拡張メニュー」>「機能選択」>「ビューア」タブ

The screenshot shows a settings window titled 'Picture CDビューアソフトの選択'. It contains several fields: 'Picture CD用のラボID' with the value '130104', 'Picture CDのVolume' with a dropdown menu set to 'Volume6以降', and 'Picture CD用リテライID' with the value 'CAMERANOKIKUYA'. A '変更' (Change) button is located to the right of the 'Picture CD用リテライID' field. At the bottom, there is a field for '最大書き込みサイズ' (Maximum write size) set to '256 MB', which is highlighted with a blue rectangular box.

参考

KODAK Picture CDのバージョンにより、CDの空き容量が異なりますので確認して設定してください。  
KODAK Picture CDを作成するには「KODAK Picture CD作成ソフト（オプション）」が必要です。

(12) 終業点検時にバックアップデータを自動採取できるようにしました。

終業点検でFDにバックアップデータを保存しない場合でも、終業点検後に自動でHDDにデータを保存します。

バックアップデータ保存先：C:¥NKData¥BkData